

授業概要

本講義は高等学校「商業」教員免許状取得のための必修科目である。本講義を通じて「商業科教育法Ⅰ」で学習した内容を深化させる。そのために、①我が国における経済の流れと状況を理解し、商業教育の歴史を学ぶことにより現在の商業教育の在り方を考察する。②現在の様々な教育課題を商業教育の視点から解決策を見出す。③充実した模擬授業を行うために、模擬授業準備指導、模擬授業後の研究協議を行う。④より良い授業をするための教材研究の深め方や教材づくりの方法について実践的な授業を行う。これらのことを学生の皆さんが確実に身に付けられるようこの授業で講義する。「商業科教育法Ⅰ」と同様に、学生の皆さんと相互通行のある授業を行っていききたい。

授業計画

第 1 回	日本経済の大きな流れと商業教育の歴史及び現状（１）
第 2 回	日本経済の大きな流れと商業教育の歴史及び現状（２）
第 3 回	商業教育と学習指導要領の変遷、情報通信技術を活用した授業の必要性とその方法
第 4 回	「生きる力」と商業教育。学校教育を支える様々な職種と仕事
第 5 回	商業教育における「主体的・対話的で深い学びの実現」
第 6 回	授業の構成、学習指導案の役割とその作成方法、教育活動と評価
第 7 回	特別な支援を必要とする生徒に対応する商業教育指導
第 8 回	教育課程と学習指導、教材研究の方法、指導計画と授業展開
第 9 回	商業教育における企業経営の教材化とその授業展開
第 10 回	模擬授業のための事前指導及び学習指導案の作成（会計分野）
第 11 回	模擬授業と研究協議（会計分野）
第 12 回	模擬授業のための事前指導及び学習指導案の作成（マーケティング分野）
第 13 回	模擬授業と研究協議（マーケティング分野）
第 14 回	授業における教師のリーダーシップと教材研究の方法
第 15 回	商業高校の進路指導における商業科教員の役割。教員採用試験について（商業）
第 16 回	定期試験は実施せず、レポート課題を課す。

到達目標

- ・高等学校における商業科目の教授方法と、学校教育における商業科目のもつ可能性について理解し、「商業科教育法Ⅰ」の学習内容を発展させ、実践できる。
- ・商業科の教員としてあらゆる教育課題に対応する資質を身に付けさせ、模擬授業指導を通して具体的な教材研究方法と教材づくり、授業場面を想定した授業設計の方法を身に付けることができる。

履修上の注意

「商業科教育法Ⅰ」から履修することが望ましいが、この「商業科教育法Ⅱ」から履修しても大丈夫である。履修上の条件は特にないが、簿記、会计学、経済学、経営学、経営財務論、憲法、民法、会社法など高等学校の商業科目に関連するものは幅広く履修することが望ましい。また、時事経済の問題に関心を持ち、新聞、雑誌の経済ニュースを常にチェックしておくことが大切である。

予習・復習

毎回配布される資料、プリントをしっかりと読み、理解に努めること。ノートを作成し、自分の感想・意見を書くこと。

評価方法

課題図書等のレポート（50%）、平常点（授業への参加姿勢、授業内提出課題の評価など）（50%）、これらを総合的に判断して評価する。

テキスト

- ・教科書名：『高等学校新学習指導要領（平成 30 年度告示）解説 商業編』
- ・著 者 名：文部科学省
- ・出版社名：実教出版
- ・出 版 年（ISBN）：2019 年（978-4407348637）